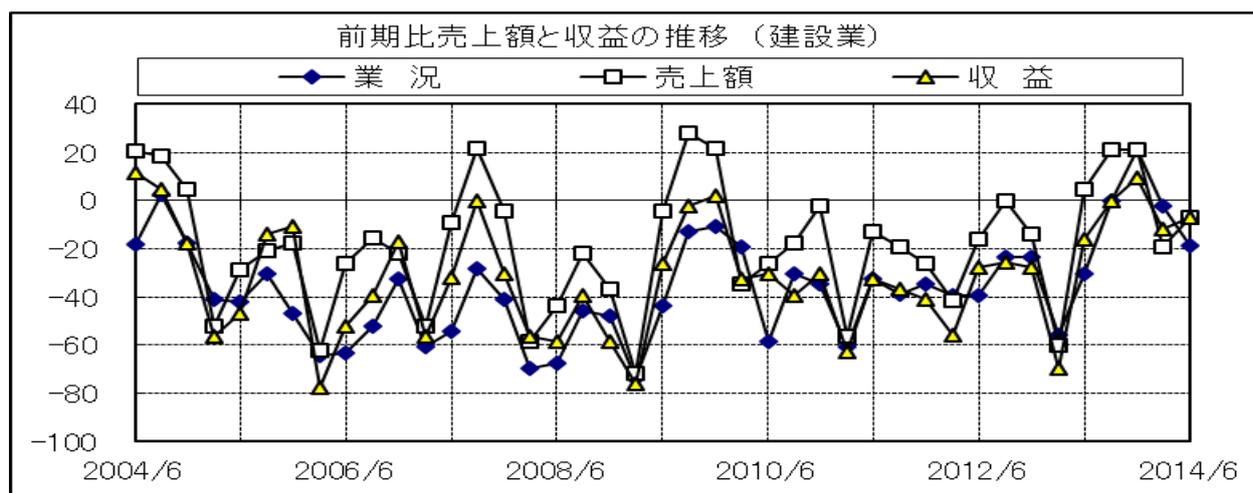


## 建設業 42企業（回答率 100.00%）の調査結果です

### □ 景 況

DI 値 の推移	10~12月 期実績	1~3月 期実績	4~6月 期実績	7~9月 期見通し
業 況	20.9	-2.4	-19.0	-4.8
売上額	20.9	-19.1	-7.1	33.3
収 益	9.3	-11.9	-7.1	21.4

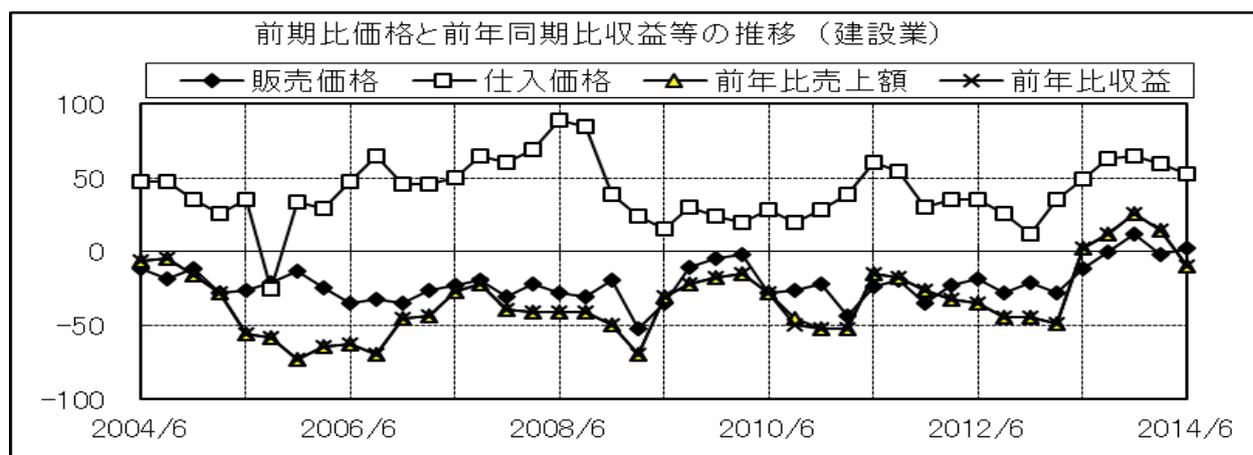
今期の業況判断DIは△19.0と、前期比16.6ポイント下降した。地区別のDIの水準は高い順に、様似、えりも、広尾が同率で並び、浦河、三石、静内と続いた。前年（△30.2）比では11.2ポイント上昇した。売上額判断DIは△7.1と、前期比12.0ポイント上昇した。収益判断DIは△7.1と、前期比4.8ポイント上昇した。



### □ 価格面の動き・前年同期に比した動き

DI 値 の推移	10~12月 期実績	1~3月 期実績	4~6月 期実績	7~9月 期見通し
請負価格	11.6	-2.4	2.4	21.5
仕入価格	65.2	59.5	52.4	41.5

請負価格判断DIは2.4と前期比4.8ポイント上昇した。仕入価格判断DIは52.4と、前期比7.1ポイントの下降で価格上昇基調を弱めた。請負、仕入価格は前年比では14.1、3.5ポイントそれぞれ上昇した。



### □ 雇用面の動き

DI 値 の推移	10~12月 期実績	1~3月 期実績	4~6月 期実績	7~9月 期見通し
残業時間	20.9	-4.7	-19.0	9.5
人手状況	-41.9	-23.8	-4.8	-28.6

残業時間判断DIは△19.0と前期比14.3ポイント下降し、残業時間が減少したとする企業割合が増えた。

人手過不足判断DIは△4.8と、前期比19.0ポイント上昇し、人手不足感を弱めた。

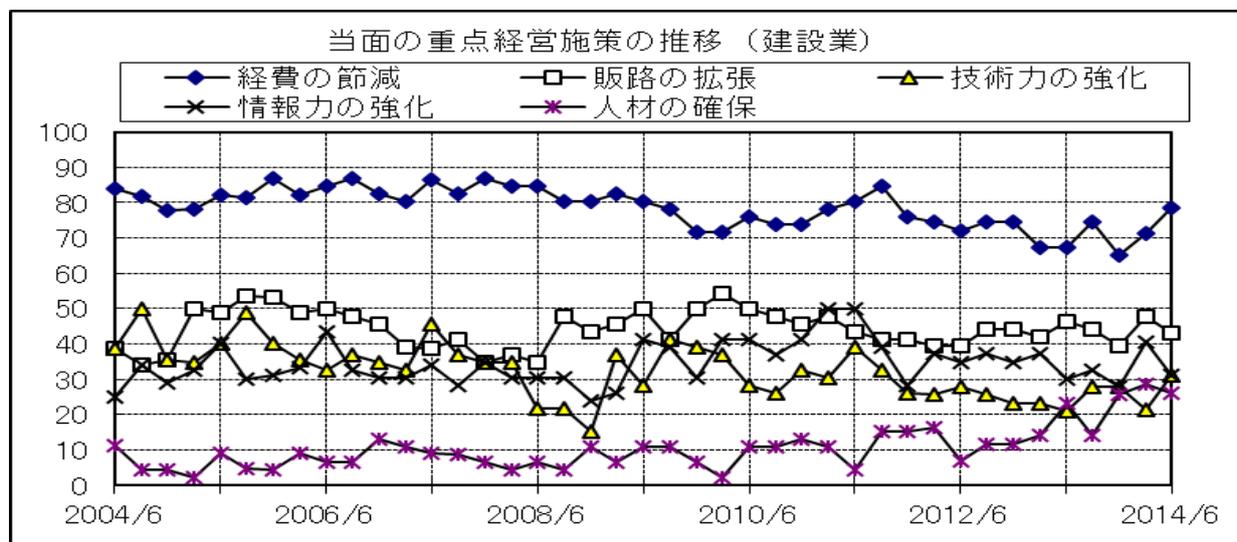
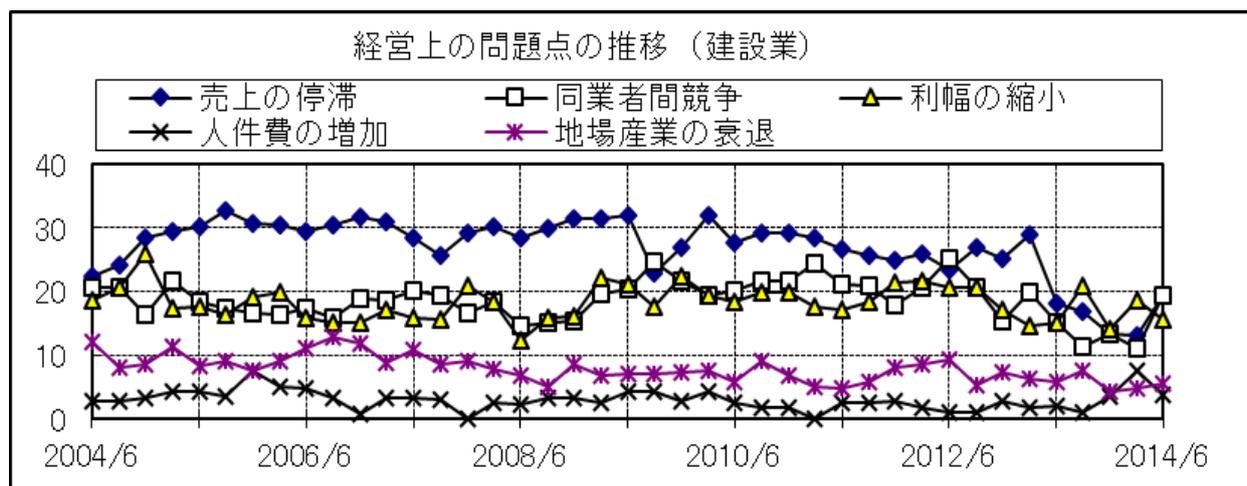
## □ 設備投資の動き

設備投資の充足感を示すD Iは△4.8ポイントで、前期比7.3ポイントの下降となった。  
設備投資実施企業割合は23.8%と、前期比2.4ポイント下降、前期比1社減の10社の実施となった。来期の設備投資は、11社の予定となっている。

## □ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上停滞減少」、「同業者との競合」が同率のトップで19.4%、「利幅の縮小」が15.7%、「材料価格の上昇」が11.1%と続いている。

重点経営施策では、「経費の節減」をトップに挙げ78.6%、次いで「販路を広げる」42.9%、「情報力の強化」「技術力を高める」が31.0%と続いている。「人材の確保」も26.2%と高い値を占めている。



## 来期の見通し

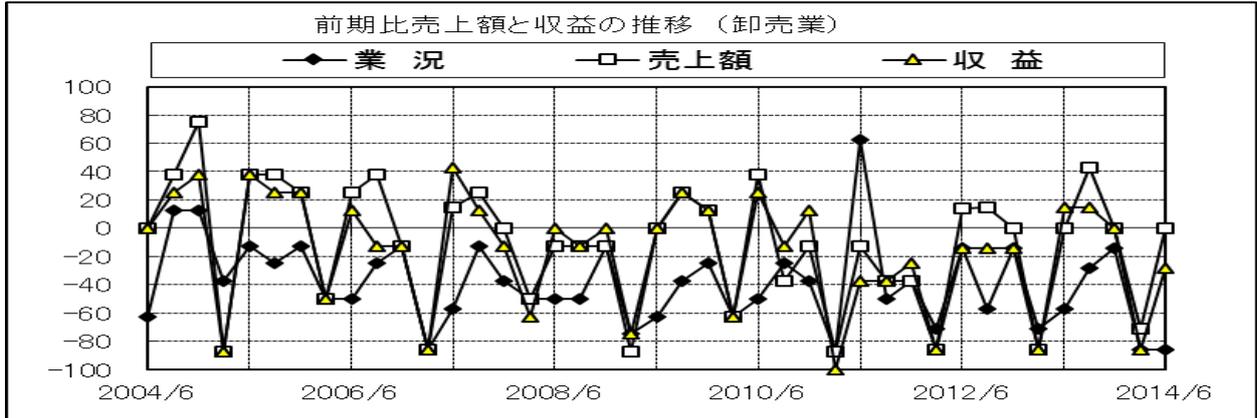
来期の予想業況判断D Iは△4.8、今期比14.2ポイントの上昇を見通している。  
予想売上額判断D Iは33.3と、今期比40.4ポイントの上昇を見通している。  
予想収益判断D Iは21.4と、今期比28.5ポイントの上昇を見通している。  
予想請負価格判断D Iは21.5と、今期比19.1ポイントの上昇を見通している。  
予想仕入価格判断D Iは41.5と、今期比10.9ポイントの下降を見通している。

# 卸売業 7企業（回答率 100.0%）の調査結果です

## □ 景況

DI 値 の推移	10~12月 期実績	1~3月 期実績	4~6月 期実績	7~9月 期見通し
業況	-14.3	-85.8	-85.7	-57.1
売上額	0.0	-71.4	0.0	-28.6
収益	0.0	-85.7	-28.6	-42.9

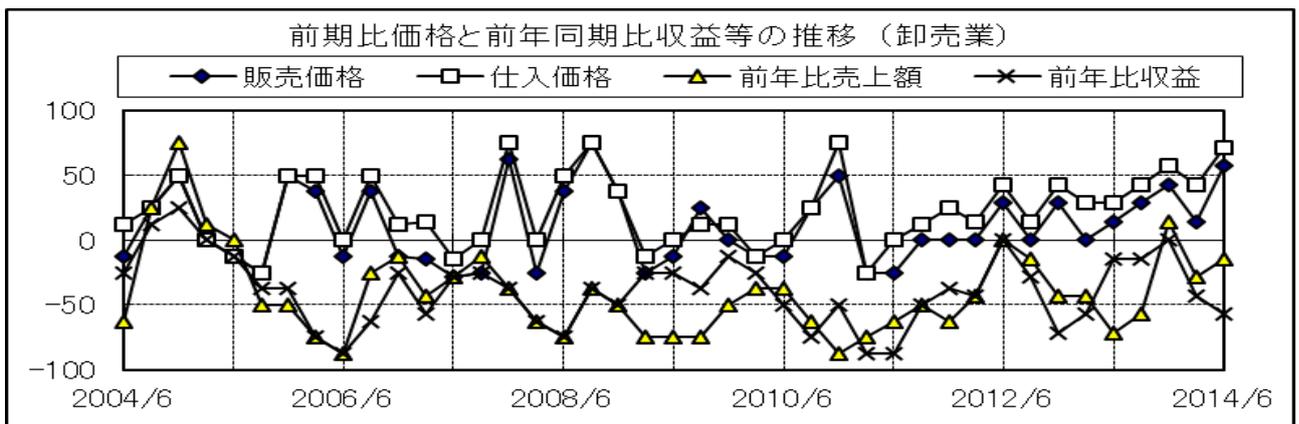
今期の業況判断DIは△85.7と、前期とほぼ同様の水準。依然として低水準の状況となった。地区別の水準は、三石地区が良化した以外その他の地区では低い水準が継続された。前年（△57.2）比でも大幅に低下した。一方、売上額判断DIはゼロ水準に回復し、収益判断DIは△28.6と前期比57.1ポイントの上昇となった。



## □ 価格面の動き・前年同期に比した動き

DI 値 の推移	10~12月 期実績	1~3月 期実績	4~6月 期実績	7~9月 期見通し
販売価格	42.9	14.3	57.1	-14.3
仕入価格	57.2	42.8	71.4	0.0

販売価格判断DI 57.1は、前期比42.8ポイント上昇した。仕入価格判断DI 71.4は、前期比28.6ポイント上昇した。業種別にみると、水産は販売・仕入価格とも上昇した。食品は販売・仕入価格とも下降した。前年比では、販売価格・仕入価格は同率の42.8ポイント上昇した。



## □ 雇用面の動き

DI 値 の推移	10~12月 期実績	1~3月 期実績	4~6月 期実績	7~9月 期見通し
残業時間	42.9	-28.6	0.0	-28.6
人手状況	-28.6	14.3	-14.3	14.3

残業時間判断DIはゼロ水準で前期比28.6ポイント上昇。残業時間「増加」と「減少」の企業割合が均衡した。

人手過不足判断DIは前期比28.6ポイント下降し、人手「不足」超となった。

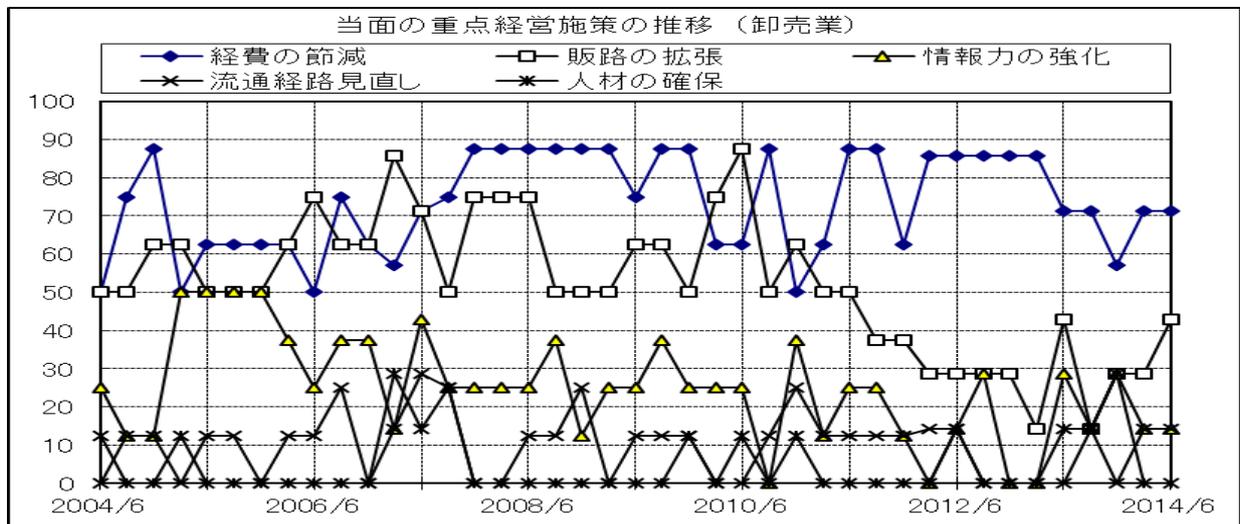
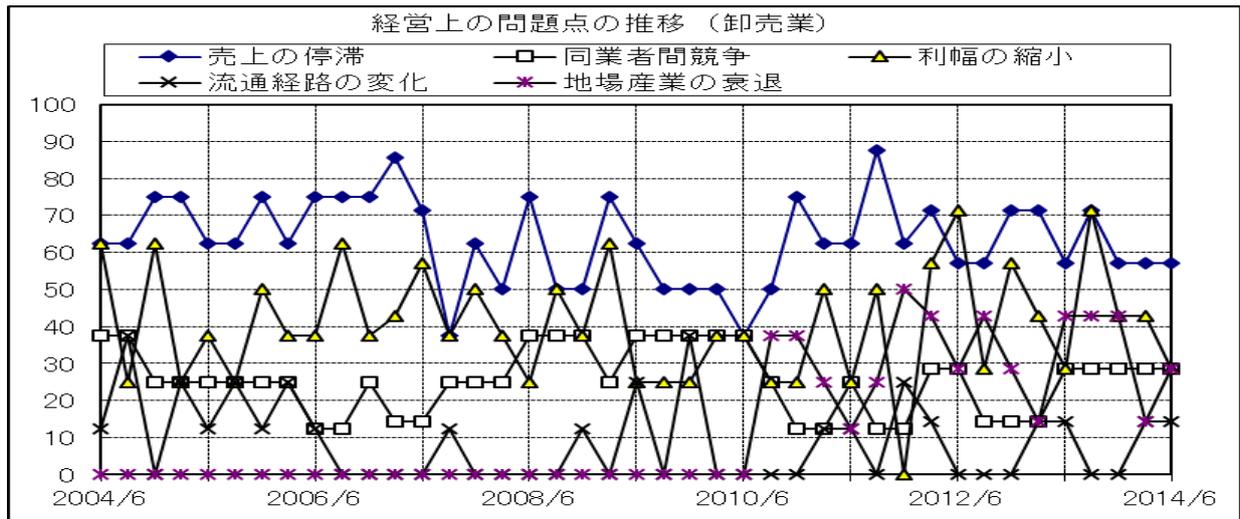
## □ 設備投資の動き

設備投資の充足感を示すD Iは、前期に引続きゼロ水準が継続された。投資実施企業は、前期と同数の1件、来期の設備投資の予定も1件となった。

## □ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞減少」57.1%、「取引先の減少」42.9%、「利幅の縮小」「同業者との競合」「諸経費率の増加が同率の28.6%で続いている。

重点経営施策では、「経費の節減」をトップに挙げ71.4%、次いで「販路を広げる」が42.9%となっている。「品揃えを充実」28.6%、「情報力を強化」「新事業を始める」「教育訓練を強化」「流通経路を見直す」「不動産の有効活用」が、いずれも14.3%となった。



## □ 来期の見通し

来期の予想業況判断D Iは $\Delta 57.1$ で、今期比28.6ポイントの上昇を見通している。

予想売上額判断D Iは今期ゼロ水準から、 $\Delta 28.6$ へと下降を見通している。

予想収益判断D Iは $\Delta 42.9$ で、今期比14.3ポイントの下降を見通している。

予想販売価格判断D Iは $\Delta 14.3$ で、今期比71.4ポイントの下降を見通している。

予想仕入価格判断D Iは0.0で、今期比71.4ポイントの下降を見通している。